

## 第108回

# 神戸市上下水道事業審議会資料

### 目 次

#### 【水道事業】

- (1) 令和8年度 神戸市水道事業会計予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・水道①
- (2) 上ヶ原浄水場再整備の進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・水道②

#### 【下水道事業】

- (3) 令和8年度 神戸市下水道事業会計予算の概要等・・・・・・・・・・・・下水道①

# 令和8年度 水道事業会計予算の概要

## 主要事業

### 1. 水道インフラの強靱化

#### (1) 配水管更新工事のペースアップ

9,962 百万円（R8当初：9,503 百万円、R7-2月補正：459 百万円）

神戸市内には総延長 4,900km を超える配水管が布設されており、これら高度経済成長期に布設され老朽化した配水管の計画的な更新と耐震化が急務となっている。令和9年度までに配水管の年間更新延長が 50km 相当※となるよう、段階的なペースアップを行っており、令和8年度は 47km 相当の配水管更新工事を予定している。

また、耐震化を効果的に実施するため、避難所等の重要施設に接続する配水管（令和8年度：8施設完了予定）や、事故時の影響が大きい配水池の根本や大口径配水管の更新・耐震化を優先的に実施する。更新・耐震化にあたっては水需要の減少を踏まえ、安定供給を維持しながらも配水管のダウンサイジングを実施するなど配水管網の再構築を行い、更新費用の低減に努める。

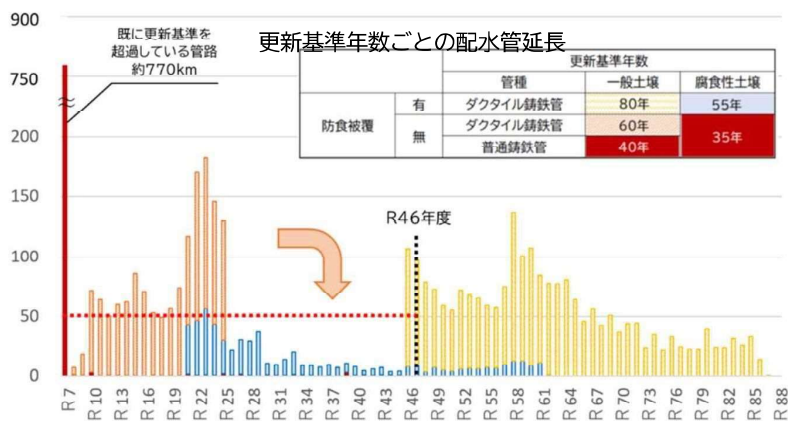
※ 50km 相当とは、配水管工事の平均口径（150～200mm）に換算した延長



配水管更新工事  
(開削)



配水管更新工事 (ダウンサイジング)  
(既設管φ900内にφ700新設管を挿入)



## (2) 基幹となる送水施設の整備・更新

### ① 4 拡送水トンネル更生工事 442 百万円

昭和 39 年に供用を開始した 4 拡送水トンネルは、阪神水道企業団から供給される水を市内へ送水する重要な基幹施設である。供用開始から 60 年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから東灘区（本山接合井）から中央区（再度第 3 接合井）の区間において、既設トンネル内に耐震性の高い送水管を挿入する工事を予定している。この更生により、上流の阪神水道区間と連続した耐震性のある送水ルートを確認し、大容量送水管と合わせた主要送水幹線の安定性が向上することで、約 50 万人相当の断水リスクを低減する。

令和 8 年度は既設送水トンネル内に送水管を搬入する基地の整備工事を実施する。（令和 12 年度完成予定）

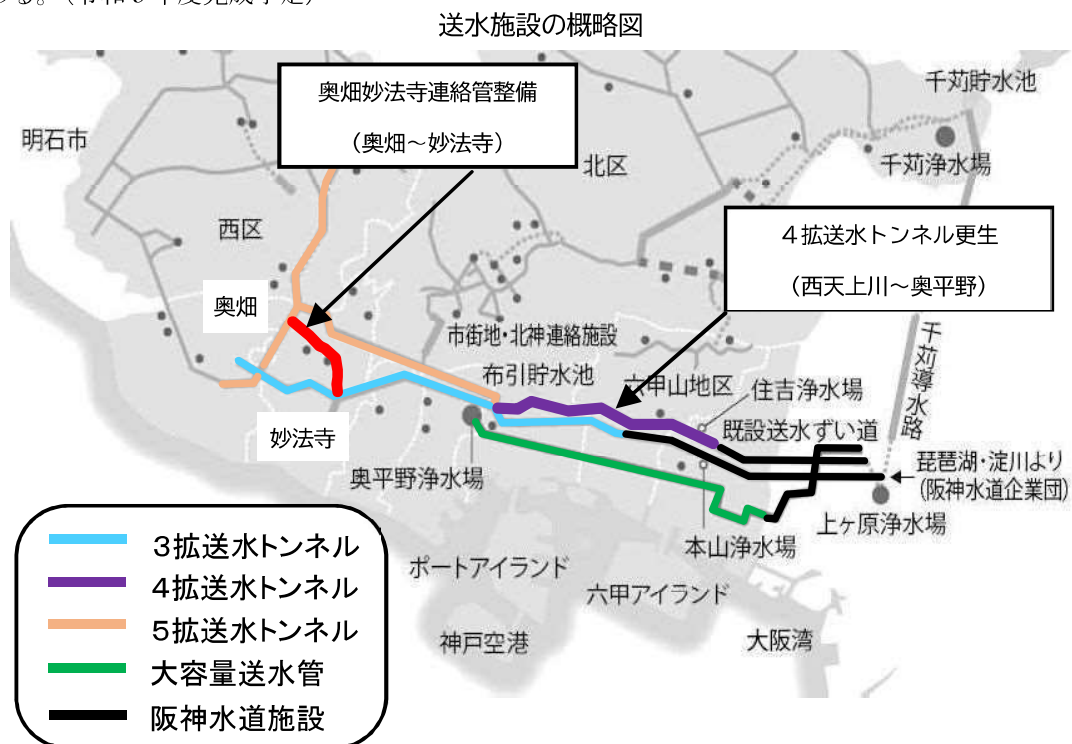
### ② 奥畑妙法寺連絡管整備工事

2,140 百万円（R8 当初：67 百万円、R7-2 月補正：2,073 百万円）

市内西部地域への送水を担う 2 本の送水トンネル（3 拡送水トンネル、5 拡送水トンネル）を連絡する送水連絡管の整備を、令和 2 年度より進めている。

この整備により、2 本の送水トンネルのどちらかが災害や施設更新等により停止した場合に、須磨区・垂水区・西区などへのバックアップが可能となる。5 拡送水トンネルが停止した場合には約 18 万人相当、3 拡送水トンネルが停止した場合には約 8 万人相当の水を送ることができる。

令和 8 年度は、昨年度に引き続きシールドトンネル内に耐震性の高い送水管を挿入する工事を進める。（令和 9 年度完成予定）



### (3) 配水池更新（奥平野低層・西神低層） 1,522 百万円

市街地などの人口が集中するエリアへの給水を担う主要な配水池の更新を順次行い、市民生活と経済活動を支えていく。

三宮・元町地区を中心に約 15 万人相当への供給能力を有する奥平野低層配水池は、明治 33 年築造で耐震性を有しておらず老朽化も進んでいる。配水池の更新に合わせて耐震化を行うことで、平常時・非常時の安定供給を確保する。

伊川谷地区を中心に約 3 万人相当の水を供給する西神低層配水池は、1 池構造のため、運用を停止した点検等が難しく、災害時・事故時のリスクも高い施設である。更新移転により 2 池構造とするとともに、水源の異なる 2 系統の送水ルートを確認することで安定性を向上させる。

（奥平野低層配水池：令和 13 年度完成予定、西神低層配水池：令和 9 年度完成予定）



奥平野低層配水池



西神低層配水池

## 2. 水道施設等の維持・更新における DX 化の取組み

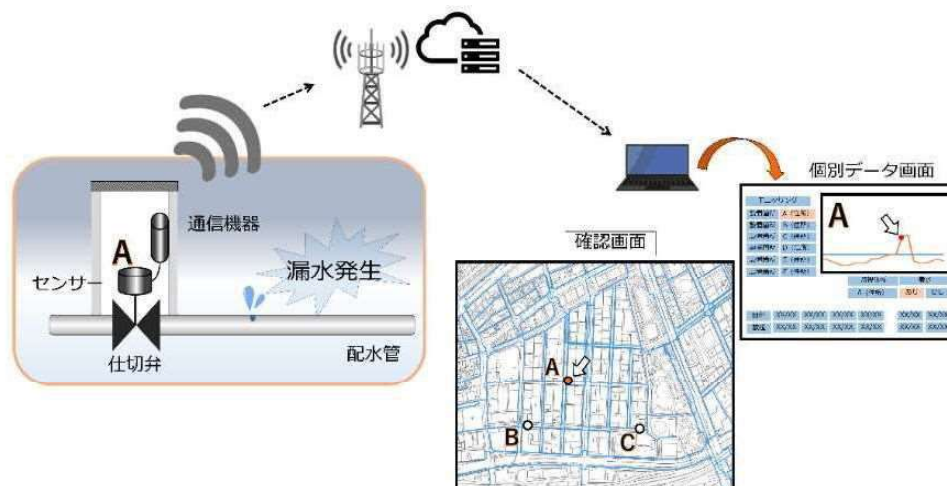
### (1) 多様な手法による漏水の調査 109 百万円

#### ① 遠隔監視機器導入による大口径管路の 24 時間監視

漏水時の迅速な対応に加え、突発的な大量漏水による断水赤水や道路陥没等による第三者被害の拡大防止のため 24 時間監視の漏水調査機器を設置する。

令和 8 年度は、国道等を横断する管路、漏水による社会的影響が大きい老朽化した 300mm 以上の大口径管路を中心に 27 箇所を設置する。消火栓や仕切弁等に設置したセンサーで実測した日々のデータを Web アプリ上で視覚的に確認することができ、大規模な事故につながり得る予兆を捉えて対応することが可能となる。

センサーによる検知から異常把握の流れ



#### ② 衛星画像による漏水調査

効率的な漏水調査手法の調査・検証のため、令和 6 年度から衛星画像の AI 解析を通じて、漏水が疑われる管路を判定する実証実験（兵庫県が実施）に参画している。令和 8 年度には、県下協力自治体と連携しながら、衛星画像による漏水調査の適正（市街地、山間部、郊外などこういった調査エリアを得意としているのか）、これまでの調査手法との棲み分けなどより効果的な活用方法について情報収集・意見交換を行う。



## (2) ドローンを活用した設備点検 2百万円

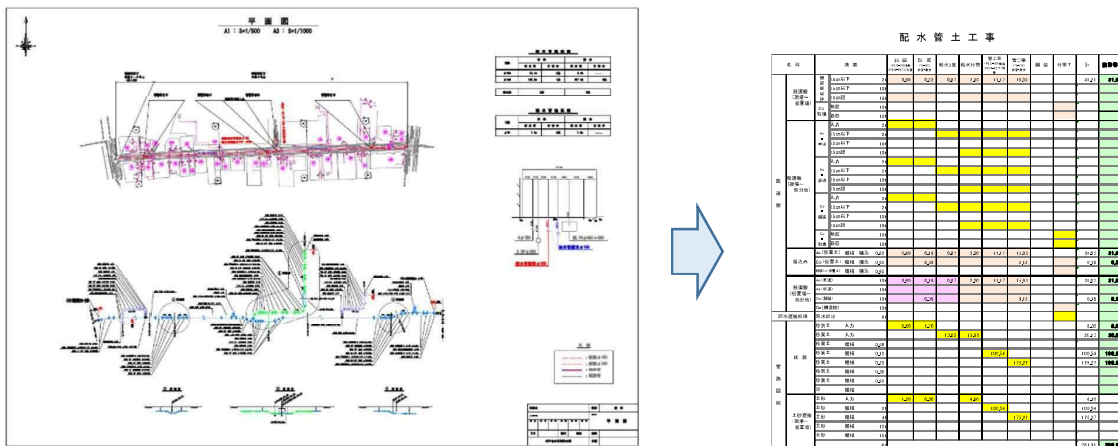
高所における設備点検をドローンに置き換え、危険作業を低減するとともに、点検の効率化と精度向上を図る。



令和8年度は、職員の資格取得促進とともに電柱に設置しているポンプ用の電気設備及び屋根上の太陽光パネルなどを中心にドローンを活用した点検を開始する。作業時間の縮減が期待できるほか、高精細な写真・動画により、目視では捉えにくい不具合の兆候を早期に把握することができる。また、台風や局地的大雨等の災害発生後の状況確認も迅速に実施できる。

## (3) 効率的な配管設計システムの導入 39百万円

配管設計図面の作成から、土木工事を含む数量の集計までを自動で行うことができるシステムを導入することで、従来手法による設計・積算業務を削減し、業務の精度向上と作業時間の短縮を図る。



図面作成

⇒ (自動変換)

⇒ 数量計算書作成

### 3. 脱炭素社会に向けた効率的な事業運営

#### (1) 太陽光発電導入可能性調査・工法検討 11 百万円

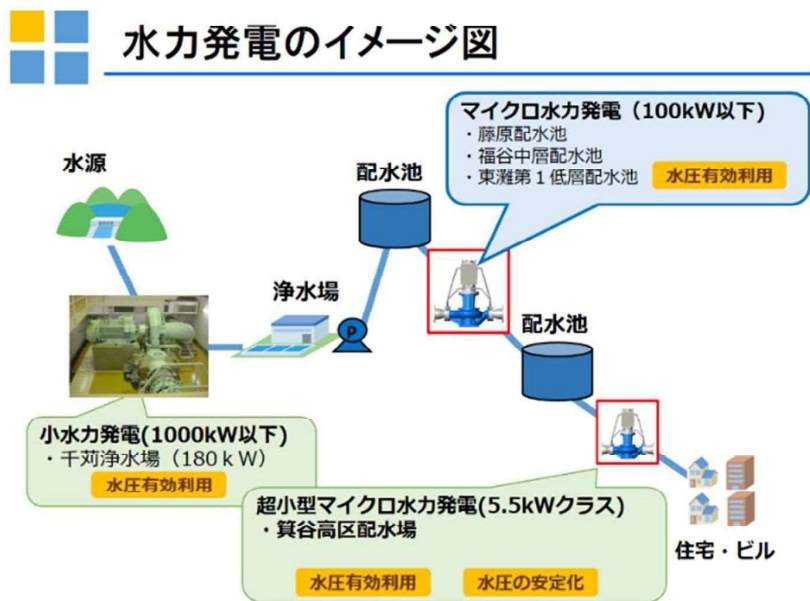
現在、浄水場やポンプ場などに発電出力合計で約 350 kW の太陽光発電設備を設置しているが、最も古いもので設置から約 25 年が経過しており、老朽化が進んでいる。

近年では次世代型といわれる太陽電池の技術開発が盛んであり、従来の太陽光電池では設置が困難な場所でも設置できる可能性が広がっている。そこで、発電出力を現在の 2 倍程度にすることを目標として、次世代型太陽光電池を含めた新たな導入や既存設備更新に合わせた高効率化など、効果的・効率的に行う手法を調査・検討しさらなる導入箇所の拡大に努める。

#### (2) 小水力発電の更なる導入

水道局では水圧を有効利用した水力発電設備を平成 15 年度から導入しており、これまでに千苺浄水場など 5 か所に設置し、令和 6 年度には、年間 126 万 kWh の電力使用量を削減することができた。

水力発電設備のさらなる導入については、配水池などの基幹施設の更新・再編に合わせて検討を進める方針であり、令和 8 年度から更新工事に着手する新西神低層配水池においても、同設備の導入を予定している。今後もさまざまな手法を検討し、さらなる導入箇所の拡大に努めていく。



## 4. 近隣市域との連携

### (1) 図面作成アプリ（KOBE かけるアプリ）の展開 16 百万円

給水装置工事の申請は、年間約 6,500 件の申請があり、審査等に多くの時間を要していたことから、これまで電子申請の受付、リモート検査の導入、AI を活用した図面審査など DX の推進を図ってきた。令和 7 年度には、神戸市の審査基準に沿った給水装置工事図面の作図を支援する図面作成アプリ（KOBE かけるアプリ）の稼働を開始している。

令和 8 年度は、本アプリを市内事業者へ普及させるとともに、アプリの機能の追加により、申請者の利便性向上、職員の業務効率化を図る。さらに、本アプリの広域的な活用展開を目指し他の水道事業体へのアプリの紹介や調整を進めていく。

The screenshot displays a software interface for creating plumbing diagrams. On the left, a floor plan labeled '1階平面図' (1st Floor Plan) shows a room layout with various plumbing fixtures marked by red icons. A scale bar indicates 1m. A callout box labeled '①ドラッグ&ドロップ' (Drag & Drop) points to a '作図コマンド' (Diagram Command) panel. This panel has tabs for '新設記号' (New Symbols) and '既設記号' (Existing Symbols), and lists fixtures like 'トイレ' (Toilet), '洗面' (Sink), '手洗い' (Hand Wash), etc. Below the floor plan, a callout box labeled '②自動入力' (Automatic Input) points to a table of '主な使用材料' (Main Materials Used). The table lists materials like '風呂' (Bath), '洗面' (Sink), '手洗い' (Hand Wash), etc., with columns for '管種・附属具類・器具類' (Pipe/Accessory/Equipment), '口径' (Pipe Size), '数量' (Quantity), and '数量' (Quantity).

管種・附属具類・器具類		口径	数量	管種・附属具類・器具類	口径	数量
風呂 (混合水栓)		13	1	水栓		1
洗面 (水栓)		13	1	メーター設置【別付】	20	1
手洗い/洗面 (混合水栓)		13	1	水栓	20	1
トイレ/洗面 (混合水栓)		13	1	水栓	20	1
専用水栓		13	1	バルブ(6分)	20	1
トイレ (特殊記号)		13	1	サド5分付水栓	150×25	1

### (2) 水質検査の広域連携

水道局では、水質試験所を設け、水源から蛇口まで切れ目なく適切な水質検査を実施している。阪神水道企業団及び構成市との間で、水質検査共同化に関する協定書を締結しており、この協定に基づき、他都市の検査受託のほか、他都市職員が本市の施設を利用して検査を実施している。

令和 8 年度からは、新たに「有機フッ素化合物 (PFAS)」が水質基準項目に加わり、検査の受託件数が増える見込みである。こうした変化に対応しながら、複数の自治体と連携することで、水質管理の強化をさらに進め、安心な水道水の提供に努める。



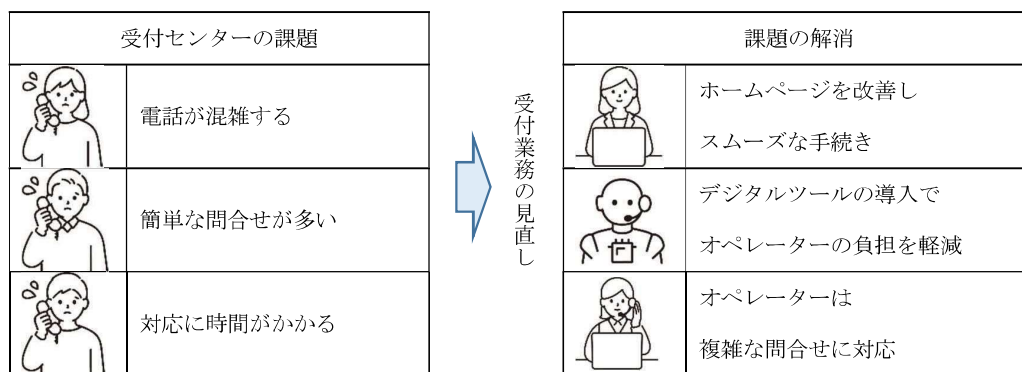
## 5. 市民サービスの向上と分かりやすい広報

### (1) お客さま受付センターにおける受付業務の効率化

事業費：28 百万円

お客さまからの電話での問い合わせ内容を分析することで受付業務の見直しを進める。簡単な問い合わせに対してはオペレーターを介さずとも解決できるよう、また、複雑な問い合わせ等に対してはオペレーターが十分に対応できるよう受付業務のあり方を見直し、効率化する。

令和8年度は、お客さま受付センターへの通話記録を分析し、ホームページの改善やボイスボット等の活用により、お客さまが知りたい情報をスムーズに届けるための取り組みを進める。



## (2) 多様な手段による広報、体験型/子ども向け広報 28 百万円

奥畑妙法寺連絡管整備の工事現場見学イベント



水道管をはじめとする老朽化した施設等の更新に関する取り組みについて、市民のみなさまにご理解いただけるよう積極的な広報を行う。例えばホームページや検針票裏面による情報発信に加え、SNS 等の WEB 広告や YouTube ショート動画など、多様な媒体を活用した広報を展開していく。

令和 8 年度は、普段見ることができない水道施設や水道工事を実際に現地で見学いただく「体験型広報」をさらに充実させていく。現場を実際に見て、直接肌で感じていただくことで、更新工事の必要性・重要性をしっかりと伝えていく。その一環として実施している「裏側体験ツアー」では、浄水場やダムの見学に加え、水質検査の実験や漏水修理体験など、実際に手を動かしながら学べる体験型プログラムを提供する。

また、日常的に触れる機会が多い SNS やショート動画を活用し、水道施設の紹介や水の不思議を分かりやすく発信するコンテンツを充実させていく。これにより、子どもたちが水道の仕組みや重要性をより深く理解し、記憶に残る学びの機会を提供する。



SNS 等 WEB 広告のバナー (KOBЕ WATER LABO)

## 6. 人材の確保

### デジタル・アナログ両輪での採用活動 31 百万円

年々厳しさが増す技術職員の確保に対応するため、水道のスペシャリストである「水道技術職」の仕事のやりがいや魅力を積極的に発信し、水道の未来を支える人材の確保に取り組んでいく。

そのため、就職・転職情報サイトへの求人掲載や全国各地で開催される就職説明会への出展、SNSを活用した情報発信、大学へのリクルート訪問等、幅広い採用活動を展開する。また、応募者の属性や採用ページのアクセスデータを分析し、より効率的で効果的な人材の確保を実現する。



就職フェアでの座談会の様子



## 令和8年度水道事業会計予算の計上状況

※各数値は、項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

### ① 業務量

項 目	区 分	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	対前年度予算	
				差 引	伸び率(%)
年間総給水量(百万m <sup>3</sup> )		165.4	166.8	▲ 1.4	▲ 0.8
給水戸(箇所)数(千戸)		834.7	829.3	5.4	0.7

### ② 財政規模(税込額)

(単位:億円)

項 目	区 分	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	対前年度予算	
				差 引	伸び率(%)
収益的支出		390.6	376.9	13.7	3.6
資本的支出		256.7	279.8	▲ 23.1	▲ 8.2
合 計		647.3	656.7	▲ 9.4	▲ 1.4

### ③ 収益的収支(税抜額)

(単位:億円)

項 目	区 分	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	対前年度予算	
				差 引	伸び率(%)
収 益	給 水 収 益	326.5	327.3	▲ 0.8	▲ 0.2
	分 担 金	3.9	3.8	0.1	2.8
	基金からの繰入金	2.0	2.0	0.0	0.0
	受 取 利 息	0.6	0.5	0.1	4.1
	一般会計繰入金	0.1	0.1	0.0	▲ 13.6
	長期前受金戻入	29.9	30.6	▲ 0.7	▲ 2.5
	そ の 他 収 益	20.9	21.1	▲ 0.2	▲ 1.3
	特 別 利 益	8.5	2.2	6.3	284.3
合 計 (A)	392.2	387.7	4.5	1.2	
費 用	人 件 費	44.3	45.8	▲ 1.5	▲ 3.2
	受 水 費	109.5	109.5	0.0	▲ 0.0
	物 件 費	73.8	73.6	0.2	0.3
	減価償却費等	121.4	119.8	1.6	1.3
	支払利息等	7.2	4.7	2.5	54.4
	繰 出 金	0.1	0.1	0.0	2.1
	そ の 他 費 用	12.4	1.3	11.1	883.7
合 計 (B)	368.8	354.8	14.0	3.9	
当年度損益(A)-(B)=(C)	23.5	32.9	▲ 9.4	-	

## ④資本的収支（税込額）

（単位：億円）

項 目	区 分	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	対前年度予算	
				差 引	伸び率（%）
収 入	企 業 債	96.0	104.0	▲ 8.0	▲ 7.7
	工 事 負 担 金	12.7	24.9	▲ 12.2	▲ 49.0
	国 庫 補 助 金	4.5	2.1	2.4	109.8
	一 般 会 計 繰 入 金 等	10.3	1.1	9.2	864.5
	基 金 か ら の 繰 入 金	18.1	61.3	▲ 43.2	▲ 70.5
	雑 収 入	0.0	2.9	▲ 2.9	皆減
	そ の 他	0.5	0.6	▲ 0.1	▲ 2.6
	合 計 （A）	142.1	196.8	▲ 54.7	▲ 27.8
支 出	建 設 改 良 費	238.7	258.6	▲ 19.9	▲ 7.7
	基 幹 施 設 整 備 工 事	88.2	113.7	▲ 25.5	▲ 22.4
	配 水 管 整 備 増 強 工 事	113.5	95.9	17.6	18.3
	貯 浄 配 水 施 設 改 良 工 事	20.9	22.0	▲ 1.1	▲ 5.2
	開 発 団 地 施 設 工 事 等	16.1	27.0	▲ 10.9	▲ 40.4
	企 業 債 償 還 金	16.5	16.8	▲ 0.3	▲ 1.7
	そ の 他	1.5	4.4	▲ 2.9	▲ 65.1
	合 計 （B）	256.7	279.8	▲ 23.1	▲ 8.2
収支差引(A)-(B)※		▲ 114.6	▲ 82.9	▲ 31.6	▲ 38.1

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額114.6億円は、損益勘定留保資金等で補てんする。

## (参考)令和8年度神戸市水道事業会計予定貸借対照表

(令和9年3月31日)

(単位:千円)

資産の部		負債及び資本の部	
科目	金額	科目	金額
<b>1 固定資産</b>	<b>329,329,459</b>	<b>3 固定負債</b>	<b>46,380,732</b>
(1) 有形固定資産	317,931,976	(1) 企業債	40,565,455
イ 土地	24,760,426	イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債	40,565,455
ロ 建物	24,148,823	(2) 引当金	5,337,316
ハ 構築物	510,799,594	イ 退職給付引当金	4,795,687
ニ 機械及び装置	70,829,020	ロ 特別修繕引当金	541,629
ホ 車両運搬具	173,949	ハ その他引当金	0
ヘ 船舶	16,666	(3) 受水費高騰対策勘定	477,961
ト 工具器具及び備品	1,518,614	<b>4 流動負債</b>	<b>13,465,947</b>
チ 建設仮勘定	7,159,391	(1) 企業債	1,626,466
減価償却累計額	△ 321,474,507	イ 建設改良等の財源に 充てるための企業債	1,626,466
(2) 無形固定資産	655,391	(2) 未払金	7,771,497
イ 地上権	0	(3) 前受金	827,691
ロ 施設利用権	7,934	(4) 引当金	421,276
ハ ソフトウェア	647,457	イ 賞与引当金	344,254
(3) 投資その他の資産	10,742,092	ロ 法定福利費引当金	75,501
イ 投資有価証券	6,934,875	ハ その他引当金	1,521
ロ 出資金	1,008,587	(5) その他流動負債	2,819,017
ハ 基金	1,797,423	<b>5 繰延収益</b>	<b>73,077,514</b>
ニ 破産更生債権等	83,774	(1) 長期前受金	168,523,362
貸倒引当金	△ 83,774	(2) 建設仮勘定長期前受金	5,707,250
ホ その他投資	1,001,207	収益化累計額	△ 101,153,098
<b>2 流動資産</b>	<b>25,978,029</b>	<b>(負債合計)</b>	<b>132,924,193</b>
(1) 現金預金	19,454,186	<b>6 資本金</b>	<b>166,971,021</b>
(2) 未収金	3,650,403	<b>7 剰余金</b>	<b>55,412,274</b>
(3) 有価証券	1,652,898	(1) 資本剰余金	36,065,607
(4) 貯蔵品	43,708	イ 受贈財産評価額	9,224,030
(5) その他流動資産	1,176,834	ロ 国庫補助金	615,184
		ハ 県補助金	3,829
		ニ 一般会計補助金	208,518
		ホ その他補助金	34
		ヘ 工事負担金	17,993,257
		ト 施設増強負担金	21,119
		チ その他資本剰余金	7,999,636
		(2) 利益剰余金	19,346,667
		イ 建設改良積立金	17,003,371
		ロ 当年度未処分利益剰余金	2,343,296
		<b>(資本合計)</b>	<b>222,383,295</b>
<b>合計</b>	<b>355,307,488</b>	<b>合計</b>	<b>355,307,488</b>

# 令和8年度神戸市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位：千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	2,343,296
	減価償却費	11,674,746
	除却費	427,352
	貸倒引当金の増減額	13,808
	退職給付引当金の増減額	△ 191,646
	特別修繕引当金の増減額	—
	その他引当金の増減額	△ 6,285
	賞与・法定福利費引当金の増減額	14,501
	長期前受金戻入	△ 2,985,986
	貯蔵品の増減額	20,000
	受取利息及び受取配当金	△ 57,211
	支払利息	670,422
	基金繰入金	△ 200,000
	破産更生債権の増減額	△ 13,476
	未収金の増減額	△ 45,289
	未払金の増減額	△ 349,458
	消費税資本的収支調整額	1,976,047
	小計	13,290,821
	利息及び配当金の受取額	57,211
	利息の支払額	△ 670,422
	<b>業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>12,677,610</b>
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	有形固定資産の取得による支出	△ 23,986,999
	無形固定資産の取得による支出	△ 196,376
	基金への積立による支出	△ 20,596
	基金からの繰入による収入	2,005,083
	基金利息等による収入	20,596
	固定資産売却代金による収入	—
	工事負担金による収入	1,271,204
	国庫補助金による収入	447,881
	一般会計補助金による収入	10,788
	投資有価証券の満期による収入	900,716
	阪神水道企業団からの出資金返還金等による収入	—
	<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 19,547,703</b>
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	企業債の発行による収入	10,600,000
	返還金等による収入	22,608
	一般会計繰入金による収入	1,034,451
	建設改良に充当する企業債の償還による支出	△ 1,652,898
	貸付金による支出	△ 22,972
	繰出金等による支出	△ 9,451
	<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>9,971,738</b>
	<b>資金増加額</b>	<b>3,101,645</b>
	<b>資金期首残高</b>	<b>16,352,541</b>
	<b>資金期末残高</b>	<b>19,454,186</b>

## 上ヶ原浄水場再整備の進捗状況

令和 8 年度事業費：2,886 百万円

### (1) 事業概要

大正 6 年度に供用を開始した上ヶ原浄水場は、自己水源である千苺貯水池から浄水場まで高低差により導水が可能なエネルギー効率に優れた浄水場だが、老朽化が進んでいることから、令和元年度より再整備事業を進めている。

事業手法には、民間事業者へ設計・建設・運転保守管理を一括して委ねる P F I を導入することで、効率的な施設運営や整備コストの削減を図る。

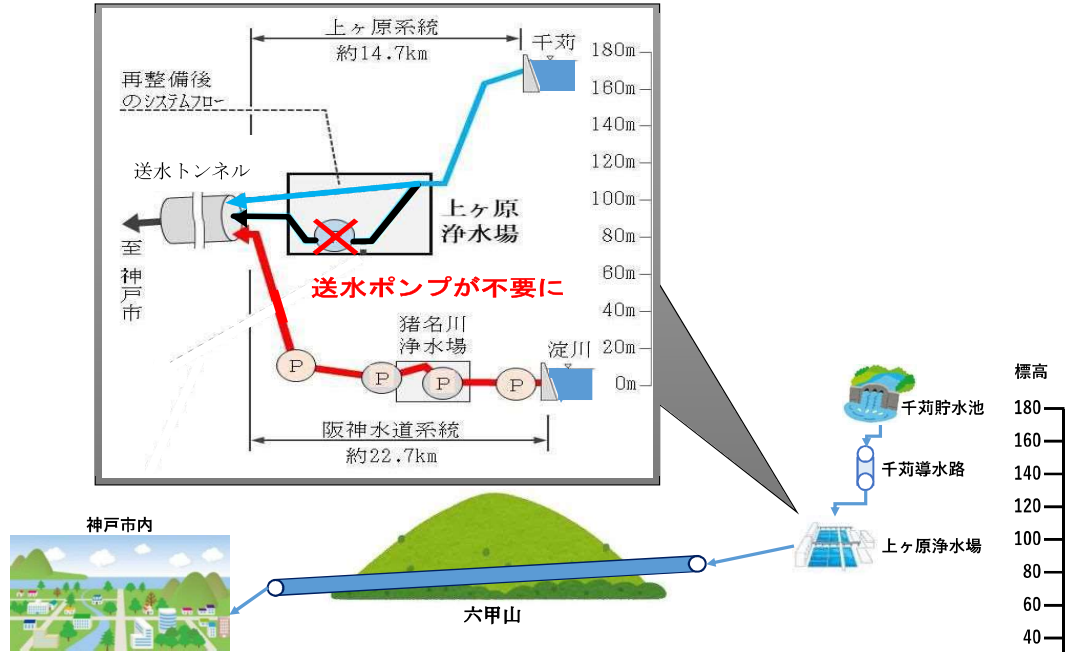
令和 8 年度は、浄水場施設が完成し、P F I 事業者による運転保守管理を開始する。(運転管理委託：令和 23 年度まで)



事業名	上ヶ原浄水場再整備等事業
受託者	株式会社上ヶ原ウォーターサービス (特定目的会社：SPC)
契約額	約176.5億円 (建設費) 約 127.4億円 (運転管理費) 約 49.1億円
事業手法	BT0方式
VFM	約9.6% (契約締結時)
事業期間	2019 (R元) 年度～2041 (R23) 年度 (設計建設) 2019 (R元) 年度～2026 (R8) 年度 (運転管理) 2026 (R8) 年度～2041 (R23) 年度
水 源	千苺貯水池
処理能力	70,000m <sup>3</sup> /日

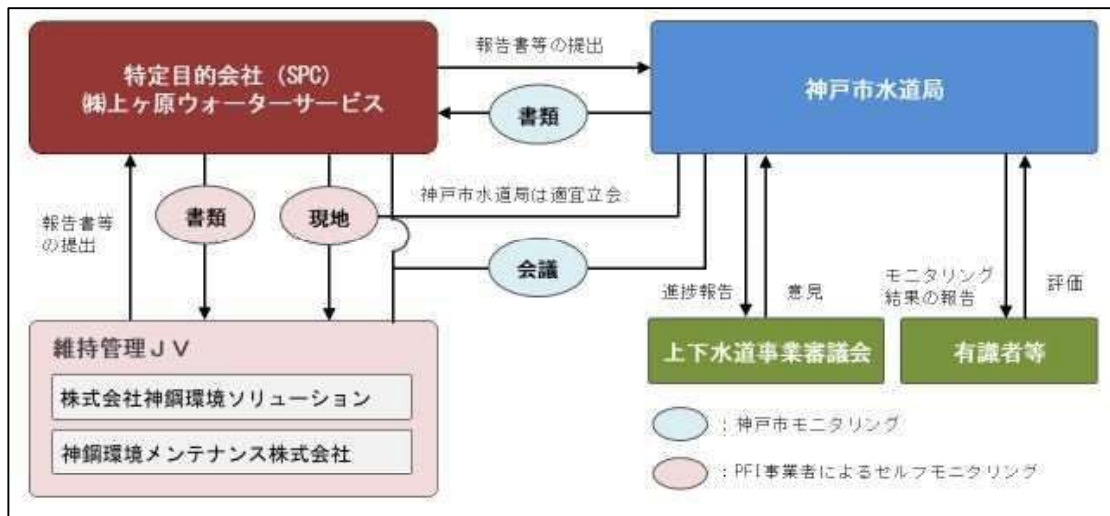
## (2) 再整備の特徴

場内の高低差を生かした施設配置に見直すことで、ポンプが不要となり、水源から市内まで一貫して動力を要しない送水が可能となることから、さらなる動力費の削減及び環境負荷の低減を実現する。



## (3) 維持管理モニタリングの体制

- ・ 運転保守管理にあたっては、適時・適切なモニタリングを実施、事業全体の統制を図る。
- ・ モニタリングについては、事業者が実施するセルフモニタリングと、その結果に基づき神戸市が実施する神戸市モニタリングの2段階に分けて実施する。
- ・ 公正かつ透明性の高い事業運営を確保するため、各種モニタリング結果については、有識者等による評価を行う方向で検討を進めている。



# 令和8年度 神戸市下水道事業会計予算の概要等

## 1. 下水道管路の全国特別重点調査の結果

### (1) 調査対象

- ・「内径2m以上」かつ「設置・改築後30年以上経過」した下水道管路
- ・本市の対象は、合計63.3km  
(汚水管16.8km、雨水管44.8km、処理場等の流入管・放流管1.7km)

### (2) 調査内容

- ・潜行目視やテレビカメラ機器を用いた管内調査を実施しました。また、本調査では飛行式ドローンや水中式ドローンなどの新技術も積極的に活用しました。
- ・管内調査の結果を踏まえ、地上からの空洞探査車による路面下空洞調査を実施しました。



潜行目視



浮流式テレビカメラ



飛行式ドローン



水中式ドローン



空洞探査車

### (3) 調査結果

#### ①管内調査

- ・管内調査の結果、確認された異状は軽微で部分的なものであり、道路陥没を引き起こすような異状はありませんでした。

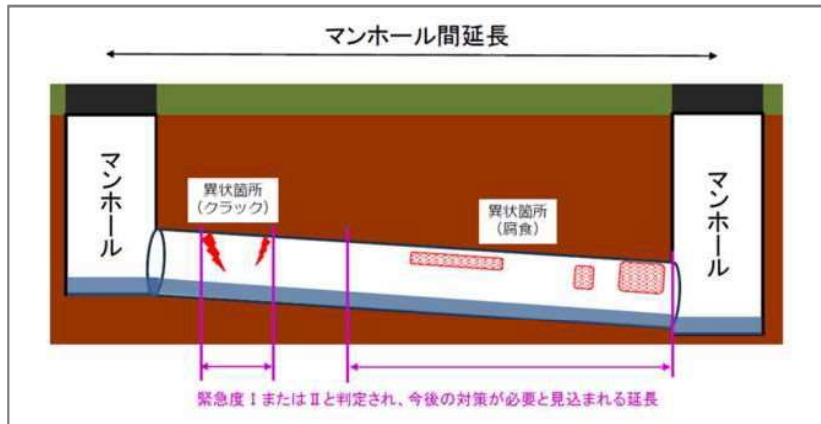
#### ・緊急度判定結果(注1)

	緊急度Ⅰ	緊急度Ⅱ	左記以外	合計
マンホール間延長	2.5km	17.4km	43.4km	63.3km
上記のうち要対策延長 (注2)	0.5km	1.6km	—	2.1km

(注1) 緊急度とは、下水道管の腐食、たるみ、破損等をそれぞれ診断し、劣化の程度により評価したものです。緊急度Ⅰは速やかな対策（原則1年以内）を実施するもの、緊急度Ⅱは応急措置を実施した上で、5年以内に対策を実施するものを指します。

(注2) 要対策延長とは、緊急度ⅠまたはⅡと判定され、今後の対策の実施が見込まれる延長を指します。

- ・マンホール間延長と要対策延長のイメージ図（出典：国土交通省ホームページより）



## ②空洞調査

- ・空洞探査車による空洞調査の結果、全国特別重点調査の対象管路に起因する空洞は確認されませんでした。

空洞探査車による調査延長	対象管路に起因する空洞が確認された箇所
18.4km	0箇所

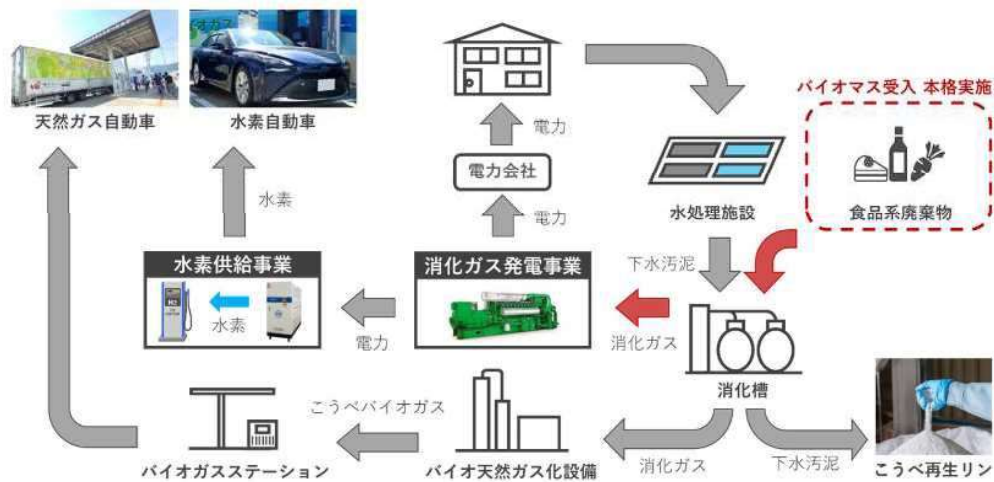
## (4) 今後の対応

- ・緊急度Ⅰ（0.5km）の対応は既に着手し、令和8年12月までに対応を完了させます。なお、5月末時点での進捗状況は0.3km、進捗率60%となっています。
- ・緊急度Ⅱ（1.6km）は令和8年度および令和9年度にかけて工事を発注します。
- ・引き続き、毎年計画的に下水道管路の点検・調査を行い、清掃や補修などの管路の保全に努めます。

## 2. バイオマス受入事業の開始

- ・令和8年4月1日より、東灘処理場で「バイオマス受入事業」を開始しました。
- ・本事業は、食品工場などから食品系廃棄物を受け入れ、下水汚泥とあわせて混合消化を行うものです。これにより、消化の過程で発生する消化ガスの増量を目的としています。
- ・この増量した消化ガスを発電に活用し、その電力（再生可能エネルギー）が一般家庭などで使用されることでCO<sub>2</sub>排出量の削減を図り、循環型社会の実現につなげていきます。

### バイオマス受入事業の開始 (令和8年4月1日～)

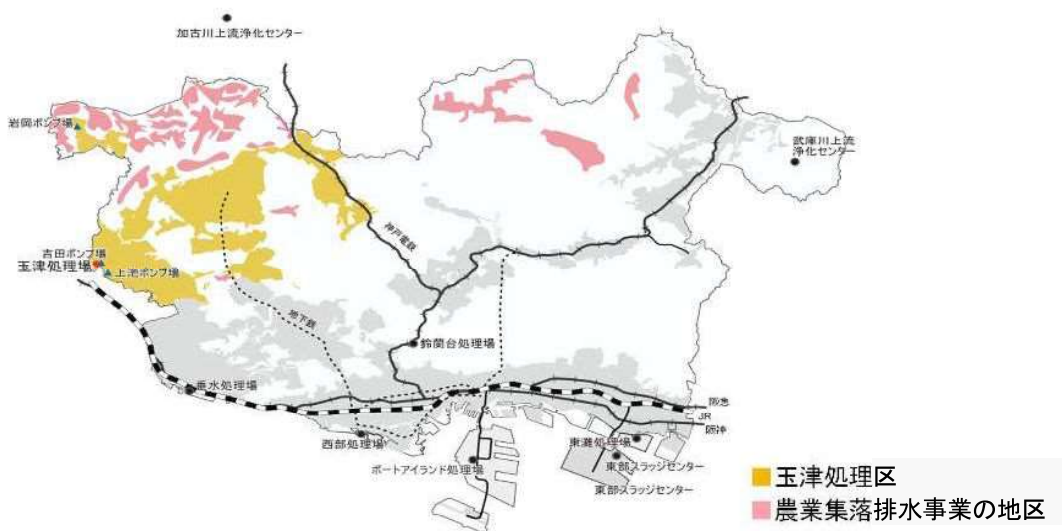


### 3. 新たな官民連携「ウォーターPPP」導入について

- ・ウォーターPPPとは、施設の維持管理や更新を長期的に行う新たな官民連携の手法の一つです。10年間の長期契約とすることで、民間事業者の創意工夫が期待できます。
- ・本市では、持続可能な下水道事業運営と安定した下水道サービスを提供するため、ウォーターPPPの導入を進めており、従来個別で実施してきた公共下水道（玉津処理場）や農業集落排水処理場の維持管理を一体的に委託することで、保守点検や修繕など効率的な施設管理を行っていきます。
- ・令和7年度に行った導入可能性調査の結果を踏まえ、令和8年度は、導入に向けた公募の準備を進めていきます。

#### 【対象施設】

玉津処理場、ポンプ場（玉津処理区）、農業集落排水処理場（西区・北区）、マンホールポンプ（市内全域）



## 4. 令和8年度 神戸市下水道事業会計予算の概要

### (1) 事業体系

基本方針と主な施策	具体的な取り組み
<p><b>快適な市民生活と社会活動を支えます</b></p> <p>①管きよの適切な維持管理・更新</p>  <p>改築更新工事（管更生工法）</p> <p>②施設の改築更新</p> <p><b>災害に備える安全・安心なまちづくりを進めます</b></p> <p>③下水道施設の耐震化</p> <p>④浸水対策</p> <p><b>良好な水環境と循環型社会の実現に貢献します</b></p> <p>⑤良好な水環境の実現</p> <p>⑥循環型社会の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪管きよの点検・調査</li> <li>▪管きよの改築更新</li> <li>▪下水道管路の全国特別重点調査の結果を踏まえた保全対策</li>   <li>▪西部処理場の改築更新（北系整備）</li> <li>▪ポートアイランド処理場の改築更新</li>   <li>▪下水処理場・ポンプ場の耐震診断</li> <li>▪管きよの耐震化</li>   <li>▪魚崎ポンプ場改築更新事業</li> <li>▪内水圧がかかる雨水幹線の構造強化</li> </ul>  <p>魚崎ポンプ場改築更新事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪「豊かな海」の実現に向けた取り組み</li> <li>▪資源循環「こうべ再生リン」プロジェクト</li> <li>▪消化ガスの有効利用（バイオマス受入事業）</li> </ul>

基本方針と主な施策	具体的な取り組み
<p><b>下水道の見える化に取り組めます</b></p> <p>⑦身近に感じる下水道</p>  <p>小学校での出前授業</p> <p>⑧地域に貢献する下水道</p>  <p>恋人岬（垂水処理場）</p> <p><b>安定した下水道サービスを提供します</b></p> <p>⑨安定した経営</p> <p>⑩下水道サービスの維持・向上への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 小学校での出前授業</li> <li>▪ 市民応援団「こうべアクアサポーター」</li> <li>▪ ホームページ等での情報発信</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 垂水処理場の上部利用</li> <li>▪ 中部処理場跡地の活用</li> </ul>  <p>こべっこランド（中部処理場跡地）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ウォーターPPP導入に向けた公募の準備</li> <li>▪ 遊休地の利活用等による使用料収入 以外の収入源の確保</li> <li>▪ 研修などによる職員の人材育成</li> <li>▪ 市民にわかりやすい下水道相談窓口</li> </ul>

## (2)主要施策の概要

### ① 資源循環への取り組み (令和8年度事業費：715百万円)

「こうべ再生リン」の取り組みをより一層推進していくため、東灘処理場（1基目）、玉津処理場（2基目）で稼働中のリン回収設備に続き、東灘処理場において市内3基目の増設を行い、3基で合計300 t/年の供給能力とする。回収したこうべ再生リンについては、市内だけでなく新たに市外へも供給し、取り組みの拡大を図る。

また、東灘処理場において、消化ガスの増量や資源の有効活用による循環型社会への貢献を目的としたバイオマス受入事業を令和8年4月より開始している。



こうべ再生リンを使用した肥料

### ② 内水氾濫対策等の雨水関連事業 (令和8年度事業費：3,279百万円)

施設の老朽化が進み、耐震性能が不足している魚崎ポンプ場について、現ポンプ場を供用しながら引き続き改築更新を進める。

また、「雨水浸水対策基本方針」に基づき、特に浸水の危険度の高い低地盤地区をはじめ優先度の高い地区から順次浸水対策を進めるほか、高潮時に内水圧がかかる雨水幹線の構造強化等が必要な箇所において、引き続き、必要な対策を実施する。併せて、老朽化している雨水幹線の改修を進める。



魚崎ポンプ場改築更新事業（第2期）



内水圧対策としてボックスカルバートへの改築

### ③ 老朽化した下水道施設の計画的な改築更新 （令和8年度事業費：6,632百万円）

下水道管路施設については、令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した大規模陥没を受け実施した「下水道管路の全国特別重点調査」を踏まえた保全対策を引き続き進めていく。

また、昭和40年に供用を開始した西部処理場において、西部処理場1系の代替施設となる北系水処理施設等の築造工事を進めるとともに、昭和55年に供用を開始したポートアイランド処理場における改築更新を進める。

さらに、東灘処理場においては汚泥処理施設の改築更新を進める。



ポートアイランド処理場改築

(3-1) 令和8年度下水道事業会計予算(公共下水道事業)の計上状況

① 業務量

区 分 項 目	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
年間汚水処理量(百万m <sup>3</sup> )	174.4	168.9	5.5	3.2
1日平均汚水処理量(万m <sup>3</sup> )	47.8	46.3	1.5	3.2
年間汚水中継量(百万m <sup>3</sup> )	25.1	24.3	0.8	3.2
年間雨水排除量(百万m <sup>3</sup> )	9.8	9.4	0.4	4.3

② 財政規模(税込額)

(単位:億円)

区 分 項 目	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
収 益 的 支 出	359.5	348.8	10.7	3.1
資 本 的 支 出	375.5	366.2	9.3	2.5
合 計	735.0	715.0	20.0	2.8

③ 収益的収支(税抜額)

(単位:億円)

区 分 項 目	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	対前年度予算		
			差 引	伸び率(%)	
収 益	下 水 道 使 用 料	191.9	191.5	0.3	0.2
	雨 水 処 理 補 助 金	38.5	38.0	0.5	1.3
	長 期 前 受 金 戻 入	88.1	88.0	0.1	0.1
	そ の 他 収 益	11.5	11.2	0.4	3.5
	特 別 利 益	-	-	-	-
	合 計 (A)	329.9	328.7	1.3	0.4
費 用	維 持 管 理 費	113.4	104.0	9.4	9.0
	人 件 費	23.6	24.4	▲0.8	▲3.4
	物 件 費	89.8	79.6	10.2	12.8
	資 本 費	233.5	232.1	1.3	0.6
	減 価 償 却 費 等	213.5	213.3	0.2	0.1
	支 払 利 息	20.0	18.8	1.2	6.3
	特 別 損 失	0.2	0.7	▲0.5	▲73.6
	合 計 (B)	347.0	336.8	10.2	3.0
当年度損益(A)-(B)=(C)	▲17.1	▲8.2	▲8.9	-	

※各項目で少数第1位を四捨五入して表示しているため、合計欄や差引額が内訳項目の計算結果と一致しない場合がある。

## ④ 資本的収支（税込額）

（単位：億円）

項 目	区 分	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	対前年度予算	
				差 引	伸び率(%)
収 入	企 業 債	113.6	65.5	48.1	73.3
	国 庫 支 出 金	76.0	53.6	22.4	41.8
	他 会 計 繰 入 金	1.9	1.4	0.5	36.6
	財 産 収 入	1.7	1.1	0.6	50.9
	基 金 繰 入 金	-	-	-	-
	雑 収 入	2.8	4.9	▲2.1	▲43.5
	工 事 負 担 金	2.8	4.9	▲2.1	▲43.5
	そ の 他 収 入	0.0	0.0	0.0	0.0
	合 計 (A)	195.9	126.5	69.4	54.9
支 出	建 設 改 良 費	281.8	222.1	59.7	26.9
	処 理 場 建 設 費	42.4	31.3	11.1	35.3
	ポ ン プ 場 建 設 費	14.5	15.4	▲0.9	▲5.9
	汚 水 幹 枝 線 布 設 費	97.6	90.2	7.4	8.2
	雨 水 幹 枝 線 布 設 費	25.2	19.3	5.9	30.3
	流 域 下 水 道 事 業 費	3.2	3.0	0.2	6.6
	処 理 施 設 等 整 備 費	99.0	62.8	36.1	57.5
	基 金 へ の 積 立	20.7	73.7	▲53.0	▲72.0
	企 業 債 等 償 還 金	72.7	70.1	2.6	3.7
	予 備 費	0.3	0.3	0.0	0.0
	合 計 (B)	375.5	366.2	9.3	2.5
収支差引(A)－(B)＝(C)		▲179.6	▲239.8	60.1	-

※各項目で少数第1位を四捨五入して表示しているため、合計欄や差引額が内訳項目の計算結果と一致しない場合がある。

（注） 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 179.6億円は、損益勘定留保資金等で補てんするものとする。

(3-2) 令和8年度下水道事業会計予算(農業集落排水事業)の計上状況

① 業務量

区 分 項 目	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
年間農業集落排水処理量 (百万m <sup>3</sup> )	1.2	1.2	▲ 0.0	▲ 2.3
1日平均 農業集落排水処理量(万m <sup>3</sup> )	0.3	0.3	▲ 0.0	▲ 2.3

② 財政規模(税込額)

(単位:億円)

区 分 項 目	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
収 益 的 支 出	9.6	10.6	▲ 1.0	▲ 9.0
資 本 的 支 出	9.9	7.6	2.3	29.7
合 計	19.5	18.2	1.3	7.2

③ 収益的収支(税抜額)

(単位:億円)

区 分 項 目	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	対前年度予算		
			差 引	伸び率(%)	
収 益	農業集落排水施設 使 用 料	1.0	1.0	▲0.0	▲0.7
	他 会 計 補 助 金	1.9	1.9	0.1	3.3
	長 期 前 受 金 戻 入	6.3	7.3	▲1.0	▲13.9
	そ の 他 収 益	0.0	-	-	-
	合 計 (A)	9.3	10.2	▲1.0	▲9.4
費 用	維 持 管 理 費	2.7	2.6	0.1	5.3
	人 件 費	0.4	0.3	0.0	5.8
	物 件 費	2.4	2.3	0.1	5.2
	資 本 費	6.7	7.8	▲1.1	▲14.0
	減 価 償 却 費 等	6.3	7.3	▲1.0	▲13.9
	支 払 利 息	0.4	0.5	▲0.1	▲14.8
	特 別 損 失	0.0	0.0	0.0	0.0
	合 計 (B)	9.4	10.4	▲1.0	▲9.2
当年度損益(A)-(B)=(C)		▲ 0.2	▲ 0.2	▲0.0	-

※各項目で少数第1位を四捨五入して表示しているため、合計欄や差引額が内訳項目の計算結果と一致しない場合がある。

## ④ 資本的収支（税込額）

（単位：億円）

項 目	区 分	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	対前年度予算	
				差 引	伸び率(%)
収 入	企 業 債	1.9	1.1	0.8	79.2
	県 支 出 金	1.1	0.7	0.4	56.3
	他 会 計 繰 入 金	6.6	5.6	1.0	17.6
	雑 収 入	0.0	-	-	-
	合 計 (A)	9.6	7.4	2.3	30.7
支 出	建 設 改 良 費	3.6	2.3	1.3	53.9
	処理施設等整備費	3.6	2.3	1.3	53.9
	企業債等償還金	6.3	5.3	1.0	19.1
	合 計 (B)	9.9	7.6	2.3	29.7
収支差引(A)－(B)＝(C)		▲0.2	▲0.2	0.0	-

※各項目で少数第1位を四捨五入して表示しているため、合計欄や差引額が内訳項目の計算結果と一致しない場合がある。

（注） 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 0.2億円は、  
損益勘定留保資金等で補てんするものとする。

## (参考) 令和8年度神戸市下水道事業会計予定貸借対照表

(令和9年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部		負債及び資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>1 固定資産</b>	<b>629,711,903</b>	<b>3 固定負債</b>	<b>153,992,066</b>
(1)有形固定資産	617,034,826	(1)企業債	151,403,940
イ土地	56,502,030	(2)引当金	2,404,049
ロ建物	66,183,032	イ退職給付引当金	2,404,049
ハ建物附属設備	16,005,921	(3)その他固定負債	184,077
ニ構築物	907,218,464		
ホ機械及装置	204,229,907	<b>4 流動負債</b>	<b>22,012,601</b>
ヘ車両運搬具	166,157	(1)企業債	7,956,052
ト工具器具及備品	2,669,191	(2)未払金	13,762,986
チ建設仮勘定	57,719,384	(3)預り金	18,787
減価償却累計額	△ 693,659,260	(4)引当金	274,776
(2)無形固定資産	1,936,594	イ賞与引当金	274,776
イ施設利用権	1,929,460		
ロ地上権	290	<b>5 繰延収益</b>	<b>208,954,736</b>
ハ電話加入権	6,844	長期前受金	547,626,316
(3)投資その他の資産	10,740,483	収益化累計額	△ 338,671,580
イ基金	10,599,241		
ロその他の投資	141,242	<b>(負債合計)</b>	<b>384,959,403</b>
ハ破産更生債権等	42,372		
貸倒引当金	△ 42,372	<b>6 資本金</b>	<b>118,260,551</b>
<b>2 流動資産</b>	<b>22,625,032</b>	<b>7 剰余金</b>	<b>149,116,981</b>
(1)現金預金	16,332,360	(1)資本剰余金	145,145,021
(2)未収金	6,285,191	イ国庫補助金	48,534,878
(3)貯蔵品	6,157	ロ他会計繰入金	267,065
(4)前払費用	1,324	ハ工事負担金	71,144,422
(5)前払金	-	ニ受贈財産評価額	1,070,321
		ホその他資本剰余金	24,128,335
		(2)剰余金	3,971,960
		イ建設改良積立金	3,852,944
		ロ当年度未処分剰余金	119,016
		<b>(資本合計)</b>	<b>267,377,532</b>
<b>合 計</b>	<b>652,336,935</b>	<b>合 計</b>	<b>652,336,935</b>

## (参考) 令和8年度神戸市下水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位:千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純損失	△ 1,726,555
	減価償却費	21,930,842
	資産減耗費	50,000
	貸倒引当金の増減額	8,711
	退職給付引当金の増減額	27,472
	賞与引当金の増減額	5,810
	長期前受金戻入額	△ 9,437,006
	受取利息及び受取配当金	△ 129,233
	支払利息	2,043,050
	有形固定資産除却損	-
	基金運用による収入	165,880
	未収金・破産更生債権等の増減額	1,099,845
	未払金増減額	△ 3,979,943
	たな卸資産の増減額	41
	消費税資本的収支調整額	1,750,350
	小計	11,809,264
	利息及び配当金の受取額	129,233
	利息の支払額	△ 2,043,050
	<b>業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>9,895,447</b>
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	固定資産の取得	△ 28,568,604
	国庫補助金	7,597,052
	県支出金	111,000
	一般会計繰入金	152,941
	工事負担金	278,530
	雑収入	1,000
	基金造成費	△ 2,065,880
	<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 22,493,961</b>
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てる企業債収入	11,549,000
	建設改良費等の財源に充てた企業債償還	△ 7,900,781
	一般会計繰入金	692,515
	<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,340,734</b>
	<b>資金増加額</b>	<b>△ 8,257,780</b>
	<b>資金期首残高</b>	<b>24,590,140</b>
	<b>資金期末残高</b>	<b>16,332,360</b>